

令和5年度 沖縄県立芸術大学 社会連携活動実績（公表用）

| | 事業名 | 連携先 | 本学の実施主体 | 期日・期間 | 事業概要 |
|----|--|---|---------|----------------------------|---|
| 1 | 沖縄県優良県産品推奨事業 | 沖縄県商工労働部 マーケティング戦略推進課 | 美術工芸学部 | 令和5年9月7日 ・ 令和6年1月18日 | 沖縄県優良県産品を推奨することで、沖縄県のものづくりを活性化し稼ぐ力を強化する本事業において、沖縄県優良県産品（工業部門）の審査を実施。 |
| 2 | 相互貸借サービス | 沖縄県立図書館 | 附属図書館 | 令和5年4月1日～ 令和6年3月31日 | 沖縄県立図書館を窓口として、沖縄県立芸術大学附属図書館の図書を出借する制度。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館を制限している地域住民等学外者への図書貸出を可能にするサービス。 |
| 4 | 沖縄画 ―8人の美術家による、現代沖縄の美術の諸相 | 「沖縄画」展実行委員会 | 美術工芸学部 | 2023年8月10日（木）～8月20日（日） | 沖縄という地縁だけを手掛かりに、ユニークな作品を展開している新進気鋭の美術家たちの作品を一堂に会することで、現代の沖縄の特性が見えてくるのではないかと、そしてそのことで、必ずしも絵画でなくとも、それらを包括的に「沖縄画」(Okinawa-Ga)と呼ぶことで、可視化されるものがあるのではないかと、それを問う展覧会である |
| 5 | 『GRAND MARQUEE』『NEW EDITION』コメント出演 | J-WAVE | 美術工芸学部 | 2023年11月20日 | 東京オペラシティアートギャラリーで開催された「石川真生 一私に何が出来るか」展についての電話出演 |
| 6 | 「YANAI Shino「I Hear Your Breath」」アフタートーク | 公益財団法人東京都歴史文化財団 | 美術工芸学部 | 2024年1月21日 | 美術家YANAI Shino氏のパフォーマンスイベント終了後の、アフタートーク出演。 |
| 7 | 音楽絵本「ゼロ弾きのゴーシュ」 芸大生による子ども向け音楽会 | ギャラリー首里テラス | 音楽学部 | 令和6年2月3日 | アートマネジメント教育の一環として、社会で自主的な公演を開催するための企画・制作のノウハウを習得する。その制作発表を実施した。 |
| 8 | 芸大生がおくる ちゅらさんコンサート | 社会福祉法人 千尋会 (老健施設) | 音楽学部 | 令和5年6月19日 | 音楽や舞踊などの実演を、学外の諸施設に届けるアウトリーチ活動の実践発表を南風原町に在する老健施設にて行った。 |
| 9 | 芸大生がおくる ちゅらさんコンサート | 沖縄女子学園 | 音楽学部 | 令和5年7月24日 | 音楽や舞踊などの実演を、学外の諸施設に届けるアウトリーチ活動の実践発表を糸満市に在する沖縄女子学園にて行った。 |
| 10 | 牧志屋台村プロジェクト | コンダクト株式会社 | 美術工芸学部 | 令和5年2月1日～ 令和6年4月30日 | 商業施設のコンセプト・名称・各種デザイン・工芸・アートの制作 |
| 11 | 池袋アートギャザリング公募展 (Ikebukuro Art-Gathering Exhibition) IAG AWARDS2023 | NPOゼファー池袋まちづくり／立教大学／株式会社東武百貨店／株式会社そごう・西武／豊島区／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場／公益財団法人としま未来文化財団 | 美術工芸学部 | 令和5年5月14日(日)～24日(水) | 東京池袋のアートイベントへの参加と作家活動支援を謳う全国の若手美術作家を対象とした公募「IAG AWARDS 2023」(「第18回 池袋モナルパルナス回遊美術館」の一環として実施)の審査員を務めた(押元一敏・渡辺おさむ・しりあがり寿他、2023年4月～5月) |
| 12 | 仁和寺秋の芸術祭「六大と現代日本画-仁和寺で甞く、万物の根源の美」 | 仁和寺 | 美術工芸学部 | 令和5年10月21日～11月3日 | 文化財を次世代に繋ぐこと、さらには現代の芸術を後世に残す取り組みが必要であると考え、日本画の発信に取組みを行うために仁和寺において芸術祭を行った。延いては、広い意味での文化財保護活動の一助を担うと考えた。 |
| 13 | 「大解剖 沖縄県立芸術大学 日本画、彫刻、漆芸展」 | 株式会社阪急阪神百貨店、公益財団法人沖縄県立芸術大学芸術振興財団、一般財団法人沖縄美ら島財団、沖縄県立博物館・美術館、株式会社武村石材建設 | 美術工芸学部 | 令和5年12月14日～19日 | 百貨店における催事場での文化催事への作品展示・運営・大学広報、ならびに首里城基金へのチャリティー事業(波多野泉、関谷理、松本隆、長尾恵那、眞茂、松崎森平、宮島弘道他) |
| 14 | 沖縄県立図書館連携事業 | 沖縄県立図書館 | 美術工芸学部 | 令和5年4月～令和6年3月 | 県立図書館と連携し、図書館内のミニギャラリーにて展覧会とギャラリー近くの本棚ブースにて選書コーナーを企画・開催した。 |

令和5年度 沖縄県立芸術大学 社会連携活動実績（公表用）

| | 事業名 | 連携先 | 本学の実施主体 | 期日・期間 | 事業概要 |
|----|--------------------------------------|------------------------------|----------------|--------------------------------------|---|
| 15 | オリオンホテル那覇 レストラン内ピア樽アート施工 | 株式会社ホテルロイヤルオリオン | 美術工芸学部 | 令和5年10月～11月 | 株式会社ホテルロイヤルオリオンの委託による樽アート事業を、絵画制作の成果を基盤に取り組み完成させた。金属樽にアートを施し、地域食材や沖縄ブランドの更なる価値向上と、ペインティングアートによる新鮮な体験を生む空間作りの補助を目的とした。地域社会へ発信・文化還元を目的として、この事業に取り組んだ。 |
| 16 | 首里城復元に向けた技術検討委員会(彩色・彫刻)WG・塗装作業チーム | 沖縄総合事務局 | 美術工芸学部 | 2023/7/11、2023/11/30、 2024/3/11 | 令和元年に火災で焼失した首里城正殿の復元に関する壁面等漆等塗装についての技術的な検討を行った。ワーキングへの参画と必要となる専門的な検証作業。 |
| 17 | 沖縄県「首里城扁額製作検討委員会」に係るワーキング部会 | 沖縄県 | 美術工芸学部 | 2023/11/29、2024/2/6、19 | 令和元年に火災で焼失した首里城正殿の復元に関する扁額についての技術的な検討を行った。ワーキングへの参画と必要となる専門的な検証作業。 |
| 18 | りゅうぎん琉球漆器技術伝承支援事業の検討委員会 | 琉球銀行 | 美術工芸学部 | 2023/5/15、2023/6/15、28 2023/12/25 | りゅうぎん琉球漆器技術伝承支援事業の検討委員会への参画と、専門的な検証作業。 |
| 19 | アートフェスティバル | デパートリウボウ | 音楽学部 美術工芸学部 | 令和6年9月1日 ～9月4日 | ・美術工芸学部、造形芸術研究科の在学学生や卒業生の作品展示・販売、ワークショップや実演を実施した。 ・音楽学部の学生により琉球古典音楽や打楽器アンサンブル等の演奏会を実施した。 |
| 20 | 第3回 With Art-アートと共にある未来へ展 | 久茂地都市開発株式会社 | 音楽学部 美術工芸学部 | 令和6年12月1日～12月25日 | パレット久茂地各所にて、美術工芸学部・造形芸術研究科の学生による展示、彫刻専攻によるワークショップ、音楽学部の学生による演奏会を実施した。 |
| 21 | 令和5年度首里城復興基金事業木彫刻物製作業務 | 沖縄県 | 美術工芸学部 | 令和5年7月18日～令和6年3月29日 | 首里城復興基金を活用し、首里城正殿の復元工程に合わせ、国から提供された仕様をもとに、「令和5年度首里城復興基金事業製作検討業務」による監修を受けながら木彫刻物の製作を行う。 |
| 22 | 令和5年度首里城復興基金事業石彫刻製作検討業務(小龍柱石膏原型製作業務) | 株式会社社国建 | 美術工芸学部 | 令和5年8月21日～令和6年3月29日 | 首里城正殿復元に係る彫刻物等の検討業務において、小龍柱(石彫刻)の製作に向け、平成復元以降に見つかった新たな知見を反映させた石膏原型の製作を行う。 |
| 23 | 令和5年度首里城復興基金事業石彫刻製作検討業務(大龍柱石膏原型製作業務) | 株式会社社国建 | 美術工芸学部 | 令和6年1月22日～令和6年3月29日 | 首里城正殿復元に係る彫刻物等の検討業務において、小龍柱(石彫刻)の製作に向け、平成復元以降に見つかった新たな知見を反映させた石膏原型の製作を行う。 |
| 24 | 第3回うりずんフェスタ | 沖縄県医師会 | 音楽学部 | 令和6年2月11日 | うりずんフェスタにて、音楽学部の学生による演奏を実施した。 |
| 25 | おきげい出前コンサート「琉球芸能」とガムラン | 海洋博公園管理センター | 音楽学部 | 令和6年3月10日 | 学生による演奏を実施した。 |
| 26 | 移動大学 | 名護市立小中一貫教育校 緑風学園 (久志小中学校) | 芸術文化研究所 | 令和5年12月3日 | 地域の小学生～中学生を対象に、粘土アニメ教室、楽力マ陶芸教室、三線教室、琉球舞踊教室など11の体験教室・講座を実施した。 |
| 27 | 文化講座「琉球・沖縄諸芸術の研究100年 | なし | 芸術文化研究所 | 令和5年4月12日～令和5年7月19日 | 琉球・沖縄諸芸術の代表的研究を紹介する。 琉球諸芸術の研究 |
| 28 | 公開講座「紅花染めを学ぶ」 | なし | 芸術文化研究所 | 令和5年11月17日 | 実際に紅花を栽培している八重山上布作家をお招きし、紅花の素材による発色の違いを学びます。 |
| 29 | 首里城公園GW体験イベント 「琉球音楽演奏会」 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 | 音楽学部 | 令和5年5月3日～5月7日 | 琉球古典音楽の演奏等を実施した。 |
| 30 | 首里城公園夏休み体験イベント 「琉球音楽演奏会」 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 | 音楽学部 | 令和5年8月11日～8月13日 | 琉球古典音楽の演奏等を実施した。 |
| 31 | 首里城公園 新春の宴「龍芸能の宴」 | 一般財団法人沖縄美ら島財団 | 音楽学部 | 令和6年1月1日 | 琉球古典音楽の演奏等を実施した。 |
| 32 | 夏休み明るい選挙ポスター教室 | 沖縄県 | 美術工芸学部 | 令和5年8月18日 | 小学生(高学年)のポスター教室へ、本学の教員及び大学院生が参加し、講師を勤めた。 |
| 33 | 第32回 ゆかる日 まさる日 さんしんの日 | 琉球放送株式会社(RBC iラジオ) | 音楽学部 | 令和6年3月4日 | 学生が出演した。 |

令和5年度 沖縄県立芸術大学 社会連携活動実績（公表用）

| | 事業名 | 連携先 | 本学の実施主体 | 期日・期間 | 事業概要 |
|----|--|---|---------|----------------------------|---|
| 34 | おきなわ工芸の杜ショップ〈t omoi ていーむい〉 企画 | おきなわ工芸の杜(株式会社沖縄TLO O) | 美術工芸学部 | 令和5年10月6日～27日 | おきなわ工芸の杜ショップ「ていーむい」にて、ポップアップ企画として、本学学制の作品を展示・販売を行った。 |
| 35 | 首里音楽祭2023 | 首里音楽祭実行委員会 | 音楽学部 | 令和5年11月26日 | 首里周辺地域の吹奏楽による交流と実技向上の為の演奏会。 |
| 36 | 琉球舞踊公演 | MOA美術館 | 音楽学部 | 令和6年2月3日 | 静岡県熱海市のMOA美術館にて、文化庁「日本博2020」の事業として開催された琉球舞踊公演に、本学の教員・学生が出演した。公演では、人間国宝の宮城幸子氏も出演し、古典舞踊、雑踊などを能舞台において、幅広く紹介した。 |
| 37 | おきなわ彩発見NEXT事業・沖縄観光宣伝素材撮影 | 沖縄県・沖縄コンベンションビューロー | 音楽学部 | 令和5年5月16日、6月5日 | 沖縄県内(離島含む)の風景から伝統文化、スポーツ、食など多岐にわたり、沖縄観光宣伝素材の新規撮影を実施する事業に、本学学生がモデルとして出演し、教員が監修にあたった。 |
| 38 | 第11回沖縄県高校生郷土芸能ソロコンテスト | 沖縄県高校生郷土芸能ソロコンテスト 実行委員会、沖縄県高等学校文化連 盟郷土芸能専門部 | 音楽学部 | 令和5年6月3～4日 | 第11回沖縄県高校生郷土芸能ソロコンテスト(舞踊部門・三線部門)において、本学教員が審査員を務めた。またアトラクションとして、本学学生が琉球舞踊、琉球古典音楽を披露した。 |
| 39 | 第2回高校生選抜かりゆし芸能公演 | 沖縄県文化振興会 | 音楽学部 | 令和5年8月27日 | 第12回沖縄県高校生郷土芸能ソロコンテストの上位入賞者の舞台公演として、本学教員が実行委員として公演制作にあたり、学生が賛助出演として、舞踊を披露し、地評を致した。 |
| 40 | 沖縄平和祈念堂「第44回 こどもまつり「こども琉球芸能奉納」 | 公益財団法人 沖縄協会 | 音楽学部 | 令和5年5月5日 | 沖縄県民の強い平和の願いが結集した沖縄平和祈念堂は、国内外の人びとが戦没者の追悼と平和への連帯を深められるよう毎年5月、6月、12月に県内で活躍する音楽家や舞踊家、その他各種団体の協力を得て、慰霊・平和祈念行事を実施しており、その一つに5月5日のこどもの日に「こどもまつり」を開催している。このまつりはこれからの未来を担うこども達の健やかで心豊かな成長を願い、まつりをとおして平和な現代を見つめ、その尊さを考え学ぶ空間を参加したこども達やそのご家族をはじめ多くの方がたと共有するために実施されており、毎年、琉球芸能専攻の学生も出演し恒久平和の願いを発信している。 |
| 41 | 第10回韓日文化キャラバンin沖縄 | 沖縄県 | 音楽学部 | 令和5年6月18日 | 2016年に始まった韓日文化キャラバンとは、韓日、両国の友好協力関係を深めることによってより緊密なパートナーシップを築いていくため、駐日本国大韓民国大使館が主催し、韓日、両国の自治体が共催する交流の場となっている。第1回の高知県から始まった同キャラバンは、今年で10回目を数える。今年には沖縄で開催され、座開きとして琉球芸能専攻の学生による琉球舞踊が披露された。 |
| 42 | 首里城GW体験イベント「琉球音楽演奏会」 | 首里城公園 | 音楽学部 | 令和5年5月3日～4日 令和5年5月6日～7日 | ゴールデンウィーク期間中に首里城公園において、子供から大人まで楽しめる体験イベントが開催され、琉球古典音楽コースの学生も「琉球音楽演奏会」に出演した。 |
| 43 | 首里城公園「夏休み体験イベント2023」琉球音楽演奏会 | 首里城公園 | 音楽学部 | 令和5年8月11日～13日 | 首里城公園において、「親子で学び、遊び、創る」をテーマに「夏休み体験イベント2023」が開催され、琉球古典音楽コースの学生も「琉球音楽演奏会」に出演した。 |
| 44 | 首里城公園 新春の宴 | 首里城公園 | 音楽学部 | 令和6年1月1日 | 首里城公園において「新春の宴」が行われ、琉球芸能専攻の学生も出演し琉球古典音楽の演奏と琉球舞踊を披露した。 |
| 45 | 落合陽一×日本フィルプロジェクト《帰納する音楽会》サテライト公演 in SHURI(首里城復興祈念奉納演奏) | 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 | 音楽学部 | 令和6年2月23日 | 沖縄美ら島財団、沖縄県立芸術大学の協力のもと「落合陽一×日本フィルプロジェクト」が世界遺産・首里城の世誇殿にて演奏会が開催され、琉球芸能専攻の学生niyoryu琉球古典音楽をはじめ、日本フィルのメンバーとともに「Open Leaves(作曲:藤倉大)」の奉納演奏が披露され |

令和5年度 沖縄県立芸術大学 社会連携活動実績（公表用）

| | 事業名 | 連携先 | 本学の実施主体 | 期日・期間 | 事業概要 |
|----|---|---------------------|----------|---------------|---|
| 46 | 第32回「ゆかる日 まさる日 さんしんの日」への出演 | RBCラジオ ラジオ局編成制作部 | 音楽学部 | 令和6年3月4日 | 「さんしんの日」の12時の時報に合わせて、琉球古典音楽「かぎやで風節」（他5曲）の演奏、学生へのインタビューを実施した。 |
| 47 | 沖縄県立芸術大学音楽学部 令和5年度特別講座Ⅰ「人間国による特別講座～琉球古典音楽の真髄を探る～」 | | 音楽学部 | 令和5年7月14日 | 音楽学部では、毎年著名な芸術家を招聘しアーティスト・イン・レジデンスまたは特別講座を実施している。今年度は、琉球古典音楽と組踊音楽の人間国宝をお招きし、公開講座と特別公演を実施した。 |
| 48 | 表千家同門会県支部設立60周年記念式典 | 表千家同門会県支部 | 音楽学部 | 令和6年3月9日 | 祝賀の琉球舞踊を披露し、式典に花を添えた。 |
| 49 | 【チェロの力学】in沖縄 | | 音楽学部 | R5.11.23 | 本学教授の研究に衣着袴が、研究力担当の兵庫県立大学の鷲津教授、木之下教授、香川大学の大宮准教授を招き、アマチュアや学生12名が参加しました。チェロの構え方や弓の動きなどを、センサーをつけた楽器と弓で検証しました。また、2回曲がったエンドピンやペザンテという錘、考案した弓も試奏し、「弾きやすい」「発売は？」といった質問もあり、奏法の可視化とともに有意義なワークショップになりました。 |
| 50 | 令和5年度 見せる復興に係るデジタルコンテンツ等制作業務 | 沖縄県 | 全学教育センター | 令和5年8月～11月 | ・首里城正殿復元に付随し首里城公園内の展示内容を「見せる復興」の趣旨のもと会議に出席し専門的な知見を提供し作成・監修した。 |
| 51 | 中城城跡保存活用計画策定委員会 | 中城村教育委員会 | 全学教育センター | 令和5年4月～令和6年3月 | ・世界遺産中城城跡の保存活用に関する基本計画を策定するため、会議に出席し専門的な知見を提供した。 |
| 52 | 領土・主権・歴史調査研究支援事業 | 公益財団法人 日本国際問題研究所 | 全学教育センター | 令和5年4月～令和6年3月 | ・尖閣諸島に関する歴史状況を明らかにする資料調査等のため検討会議への出席および史料調査をおこなった。 |
| 53 | 史跡中頭方西海道及び普天間参詣道整備委員会 | 浦添市教育委員会 | 全学教育センター | 令和6年2月20日 | ・浦添市の指定史跡の整備事業に係り会議に出席し専門的な知見を提供した。 |
| 54 | 首里大学 講演会 | 那覇市歴史博物館 | 全学教育センター | 令和6年1月17日 | ・那覇市歴史博物館等が開催する首里大学において「近世の中城御殿について」と題し講演を行った。 |
| 55 | 多良間村自然文化継承事業 | 多良間村教育委員会 | 全学教育センター | 令和5年5月～令和6年3月 | ・多良間村が所蔵する郷土資料の整理・活用に関し専門委員として、史料調査および資料の整理・刊行、成果報告会などでの講演を行った。 |
| 56 | 中城村生涯学習講座「文化講座」 | 中城村教育委員会 | 全学教育センター | 令和6年2月21日 | ・中城村教育委員会が開催する郷土学習のための文化講座にて「近世琉球期の「中城」」と題し講演を行った。 |
| 57 | 加藤真美先生の特別講座 講演テーマ「私と焼物一心を託すー」 | なし | 比較芸術学専攻 | 令和6年2月16日 | 陶芸家の先生をお招きして、講演会を実施した。 |
| 58 | 映画「スーブとイデオロギー」上映会&ヤンヨンヒ監督とのQ&A | なし | 比較芸術学専攻 | 令和6年1月19日 | 「スーブとイデオロギー」を上映し、その後オンラインで監督とQ&Aを実施した。 |
| 59 | アートレクチャー 「朝鮮民画ー王朝の'民'の絵」 | なし | 比較芸術学専攻 | 令和5年10月6日 | 朝鮮王朝時代(1392～1910)後期以降、日常の生活空間を飾る目的で制作された「朝鮮民画」に注目し、王朝時代を生きた普通の人々の美意識と生活感情を分析した。 |
| 60 | アートレクチャー 「沖縄を離れた地域の組踊について」 | なし | 比較芸術学専攻 | 令和5年10月20日 | 本講座では、沖縄県外における組踊の上演や組踊台本、組踊作品に焦点を当ててその事例を紹介し、問題提起を行った。 |
| 61 | アートレクチャー 「カッシーラー『象徴形式の哲学』ー100年後の世界から振り返る」 | なし | 比較芸術学専攻 | 令和5年10月27日 | 第1巻が刊行されてから今年でちょうど100年になる、哲学者エルンスト・カッシーラーの著書『象徴形式の哲学』について、その要点をわかりやすく分析した。 |
| 62 | サラエボ・ファインアートアカデミー「芸術研究プロジェクト」 | サラエボ・ファインアートアカデミー | 美術工芸学部 | 令和5年4月26日 | サラエボ・ファインアートアカデミー主催による芸術研究の交流プロジェクトにおいて、サラエボ大学の学生・教員へ向けて講演会の講師を行なった。 |

令和5年度 沖縄県立芸術大学 社会連携活動実績（公表用）

| | 事業名 | 連携先 | 本学の実施主体 | 期日・期間 | 事業概要 |
|----|--|-----------------------------------|-----------------|---|--|
| 63 | 探査プロジェクト 「マイクロプラスチック共同調査」 | タラ オセアン財団 (一社)タラ オセアン ジャパン | 美術工芸学部 | 令和5年6月4日 ～6月6日 | 科学・アート・教育を通じて、プラスチック汚染のみならず、人間活動が海洋に与える影響について、沖縄における共同調査を行なった。 |
| 64 | 「オキナワ担い手未来 — アーツプロジェクトを実践する人たちを育てる」 | 沖縄アーツカウンシル | 美術工芸学部 | 令和5年9月30日 | 沖縄アーツカウンシル主催による、文化芸術の担い手を発掘・育成することを目的とした講演会の講師を行なった。 |
| 65 | なは一とカンファレンス2024「アーティストの条件～アートワーカーの制作環境を考える～」 | 那覇市 那覇文化芸術劇場なは一と | 美術工芸学部 | 令和5年11月5日 | 那覇市主催による、アートワーカーの制作環境と、文化芸術と社会について考察するシンポジウムに登壇した。 |
| 66 | リサーチ型プロジェクト「message in a bottle -島の暮らし、島からの発信」 | なし | 美術工芸学部 | 令和5年8月26日 ～8月30日 | ソーシャル・エンゲージドアートにおける島／沖縄にクローズアップしたリサーチ型の芸術講座を企画・実施した。 |
| 67 | リサーチ型プロジェクト「message in a bottle -島の暮らし、島からの発信」 | なし | 美術工芸学部 | 11月29日～12月4日 | ソーシャル・エンゲージドアートにおける島／沖縄にクローズアップした芸術講座をもとに、展覧会を実施した。 |
| 68 | 版でつくるアーティストブックの装丁作り | ユンタンザミュージアム | 美術工芸学部 | 令和5年8月5日 | 教育普及事業として、高校生を対象に、専門性を活用した公開講座を実施した。 |
| 69 | おきげい教養講座 「漫湖のマングローブを使った染色ワークショップ」 | 漫湖水鳥湿地センター | 全学教育センター | 令和5年8月12日 | 親子を対象に、以下の一連のワークショップを行った。 ①マングローブと漫湖のミニレクチャー ②マングローブ稚樹抜き作業 ③染色 |
| 70 | おきげい出前コンサート 崎山町夏祭り | 首里崎山町自治会 | 音楽学部 | 令和5年8月12日 | 自治会からの依頼を受けて夏祭りに学生が演奏で参加した。 |
| 71 | おきげい出前コンサート 当蔵町敬老会 | 首里当蔵町自治会 | 音楽学部 | 令和5年9月24日 | 自治会からの依頼を受けて敬老会の幕開け等に学生が演奏で参加した。 |
| 72 | おきげい出前コンサート 県庁ロビーコンサート(全4回) | 沖縄県文化振興課 | 音楽学部 | 令和5年8月22日 10月24日・12月26日 令和6年2月20日 | おきげい出前コンサートとして、音楽表現専攻・琉球芸能専攻の学生が演奏を披露した。 |
| 73 | おきげい出前コンサート 博物館・美術館 染織展 | 一般社団法人沖縄美ら島財団 | 音楽学部 | 令和5年11月5日 | おきげい出前コンサートとして、琉球芸能専攻の学生が演奏・演舞を披露した。 |
| 74 | 令和5年度「沖縄本島及び周辺離島における民俗芸能 民俗文化財調査」 | 沖縄県教育庁文化財課 (文化庁) | 音楽学部 芸術文化研究所 | 令和5年5月19日から 令和6年3月29日 | 文化庁からの委託事業として沖縄本島周辺離島の調査方法及び調査を実施した。 |
| 75 | 令和5年度「琉球王国文化遺産集積・再興事業」 | 一般社団法人沖縄美ら島財団 沖縄県立博物館・美術館 | 音楽学部 美術工芸学部 | 令和5年4月1日～ 令和6年3月31日 | 各部門3名の監修者が定められ、8年計画(現在2年目)で沖縄県を主体として実施される事業。復元再興の選定並びに調査・助言等を行なった。 |
| 76 | 令和5年度「沖縄県文化芸術振興審議会」 | 沖縄県 | 音楽学部 | 令和5年4月1日～ 令和6年3月31日 | 沖縄県の21世紀ビジョンに掲げられた文化芸術振興等について所属課を超えて議論を行う会議。 |
| 77 | 恩納村史編さん事業(芸能編) | 恩納村 | 音楽学部 芸術文化研究所 | 令和5年4月1日～ 令和6年3月31日 | 恩納村史芸能編の編さんにあたり、調査・執筆等を実施。 |
| 78 | しまじまの伝統芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業 | 沖縄県文化振興課 | 音楽学部 | 令和5年10月18日 | 出演団体の選出等 |
| 79 | 文化発信交流拠点の充実に関する調査事業会議 | 沖縄産業計画 (沖縄県文化振興課委託事業) | 音楽学部 | 令和5年10月30日から 令和6年3月31日 | 沖縄県内におけるホール等の設置検討に係る調査研究への助言 |
| 80 | みんなの配信と交流エキスポ | 琉球新報社・スタジオレゾナンス 共同事業体 | 音楽学部 | 令和6年2月3日 | シンポジウム内の「地域が抱える民俗芸能等の諸課題と子どもの体験保障」に関する知見及び話題の提供として講演を実施した。 |
| 81 | 令和5年度「大学発SDGs社会課題解決型科学技術プロジェクト創出支援事業試験的科学技术プロジェクト」 | 琉球大学 沖縄県三線製作事業協同組合 株式会社 ヤマハ | 音楽学部 | 令和5年8月1日から 令和6年3月31日まで | 「三線文化の継承・発展のための音色分析と職人育成支援」として、三線の棹材の枯渇に起因する諸問題に取り組む事業。三線の代替材の模索及び三線の音の科学分析に取り組んだ。 |

令和5年度 沖縄県立芸術大学 社会連携活動実績（公表用）

| | 事業名 | 連携先 | 本学の実施主体 | 期日・期間 | 事業概要 |
|----|---|---------------------|---------|---------------------|--|
| 82 | 令和6年度文化活動支援助成事業 | (公財)沖縄県文化振興会 | 音楽学部 | 令和6年3月11日 | 沖縄県内の文化の振興を図り、多様な文化の創出を目的とした文化活動の支援事業(県予算)。 |
| 83 | 第29回オーケストラ定期演奏会 | アイム・ユニバース てだこホール | 音楽学部 | 令和6年1月21日 | 音楽学部によるオーケストラ定期演奏会 |
| 84 | 沖縄県かりゆし長寿大学校「組踊」 | 沖縄県社会福祉協議会 | 音楽学部 | 令和5年8月10日、22日 | 沖縄県社会福祉協議会が、高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加の促進を図るために運営している「沖縄県かりゆし長寿大学校」において、沖縄の伝統芸能・組踊についての講義を実施した。 |
| 85 | 名桜大学学長講座「大学と人生」 | 公立大学法人 名桜大学 | 音楽学部 | 令和5年5月15日、12月18日 | 名桜大学の学長講座として実施されている「大学と人生」において、琉球芸能を取り上げ、自身の経験談を交え、琉球舞踊や組踊について実演を行いながら紹介した。前期、後期の二回、実施。 |
| 86 | 国立劇場おきなわ公演記録鑑賞と講座「開場20年を振り返る」 | 公益財団法人 国立劇場おきなわ運営財団 | 音楽学部 | 令和5年12月12日 | 沖縄伝統芸能の保存、振興を目的に開催されている公開講座において、「国立劇場おきなわの20年」と題し、過去の自主公演を振り返り、思い出の舞台等について、記録映像を見ながら、おはなしを担当した。 |
| 87 | 那覇市文化行政審議会 | 那覇市市民文化部文化振興課 | 音楽学部 | 令和5年2月27日～令和7年2月26日 | 市長の諮問に応じ、那覇市の文化行政の計画をはじめ、那覇文化芸術劇場なはーと、那覇市バレット市民劇場、那覇市民ギャラリーの運営計画等について審議を行う審議会に、委員として参加している。 |
| 88 | 令和5年度 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業に係る旅行商品化に向けた文化体験モデル構築ワーキンググループ | 公益財団法人 沖縄県文化振興会 | 音楽学部 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 | 沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光サービスの確立に向けた諸課題及び対応策、旅行商品化に向けた文化体験プログラムモデルのあり方等を検討するために設置されたワーキンググループに、アドバイザーとして参加している。 |
| 89 | 第3回新作組踊戯曲大賞 選考審査委員会 | 公益財団法人 国立劇場おきなわ運営財団 | 音楽学部 | 令和5年5月16日～令和6年3月31日 | 国立劇場おきなわが、沖縄の伝統芸能の振興を図るため、新たな作品の創造を目指して実施している「新作組踊戯曲大賞」の選考審査委員会に、委員として参加している。 |
| 90 | 学内定期演奏会 | - | 音楽学部 | 令和5年4月1日～令和6年3月31日 | 学内での定期演奏会(公開) R5年度31回 |
| 91 | ぬちぬぐすーじさびらコンサート | - | 音楽学部 | 令和5年6月17日 | オーケストラ |
| 92 | 琉球芸能定期公演 | - | 音楽学部 | R5.11.11 | 定期公演 |
| 93 | サマースクール2023 | - | 美術工芸学部 | 7/31～8/3 | 芸術大学に興味のある皆さんを対象にサマースクール2023を開催します。美術工芸に関する様々な表現や技法を専門教育の場で体験できる講座。計13科目 |
| 94 | 公開講座 しまくとぅば実践教育プログラム | - | | R5.5.7 | 公開講座 |
| 95 | 公開講座 東洋芸術文化学研究A | - | | R5.7.26 | 世界の陶磁器の源流となった中国陶磁の発展史を、時代ごとに詳説する。その背景となった中国を中心としたアジアの歴史についても概説。また、中国陶磁と関係の深い青銅器、漆器、ガラス器、玉器、金銀器など中国工芸全般についても触れる。文献や写真だけでなく、陶片などの実物資料も活用する公開講座 |
| 96 | 公開講座 東洋芸術文化学研究A | - | | R5.7.26 | 授業のテーマは美術館と美術展示。具体的にはアジアの現代美術を美術史の文脈で批評眼を持って考察する。まず、1990年代以降、日本の主に国立美術館で開催された東アジア諸地域関連企画展を取り上げる。さらに、東アジア地域の国の国立系美術館の現代美術企画展を紹介する公開講座 |
| 97 | おきげい教養講座 沖縄バスケの歴史 | - | | R5.8.16 | 公開講座 |
| 98 | おきげい教養講座 パフォーマンス・アプローチ心理学とキャリア教育の接点 | - | | R5.8.25 | 公開講座 |

令和5年度 沖縄県立芸術大学 社会連携活動実績（公表用）

| | 事業名 | 連携先 | 本学の実施主体 | 期日・期間 | 事業概要 |
|-----|--|-----|---------|-----------|--|
| 99 | おきげい教養講座 近世琉球の中城御殿移転と首里 | - | | R5.9.29 | 公開講座 |
| 100 | 公開講座 人間国宝による特別講座「日本の伝統芸能・京舞の真髄に触れる」 | - | | R5.12.10 | 京舞の第一人者である人間国宝の元正をお迎えし、江戸末期から200年以上に続く「京舞」の世界を、実演を交え紹介します。 県内では鑑賞する機会の少ない日本の伝統芸能に触れることによって、琉球芸能との類似点や独自性を体感し、あらためて自身の表現の幅を広げることを目的とする公開講座 |
| 101 | 公開講座「日本と美術史と私」 | | | 令和6年1月26日 | 公開講座 |
| 102 | 洋楽定期演奏会 | - | 音楽学部 | 令和5年12月2日 | 洋楽定期演奏会 |
| 103 | 室内楽定期演奏会 | - | 音楽学部 | 令和6年2月10日 | 室内楽定期演奏会 |